

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	地域防災訓練活動育成事業	担当課	交通防災課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間
	施策	防災対策の推進	年度～
	基本事業	市民の防災意識の向上	種別
予算科目コード	01-020110-06 単独	市民協働	補助事業
		根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策基本法第5条第2項</li> <li>・守谷市自主防災組織活動育成事業補助金交付要綱</li> </ul>

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>災害対策基本法第5条第2項及び第48条により、災害に備えての組織づくりの充実と防災訓練の実施が義務付けられている。</p>	<p>自主防災組織活動育成補助事業により、自主防災組織の結成時や資機材整備時に補助を行うことにより、組織の結成促進と育成強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結成事業補助10万円×3団体</li> <li>・資機材整備事業補助20万円×3団体</li> <li>・資機材更新事業補助10万円×21団体</li> <li>・防災士育成事業補助3万円×3人</li> <li>・資機材整備（コミュニティ助成事業）1,300千円</li> </ul> <p>また、発災対応型防災訓練の実施について指導やアドバイスを行うとともに、専門家による防災講演会を実施する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>災害時の初動対応や避難体制の強化を図るため、自主防災組織の結成促進と発災対応型防災訓練を実施し、災害時における被害の軽減を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民の防災意識を高め、災害時に適切な対応ができるように努める。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>地域での災害時の初動対応を担う自主防災組織の結成率は、年々わずかではあるが向上（H30：72.1%→R1：73.4%）している。引き続き未結成自治会の結成促進に努めるとともに、既存組織についても発災対応型防災訓練への参加を促し、組織の活性化につなげていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月…各区长等を対象とした「防災講演会」の開催</li> <li>・通年…各地域等に応じた防災講話を実施</li> <li>・通年…各まちづくり協議会防災部会等の説明会等において実施</li> <li>・通年…自主防災組織活動育成補助事業により、組織の結成促進と育成強化を図る。              結成事業補助（限度額10万円） 3団体              資機材整備事業補助（限度額20万円） 3団体              資機材更新事業補助（限度額10万円） 23団体              防災士育成事業補助（限度額 3万円） 9人</li> <li>・通年…「守谷の地域防災を考える会」の協力のもと、自主防災組織の結成相談、発災対応型防災訓練の実施についての指導助言を行う。</li> </ul> <p>※5月の各区长を対象とした「防災講演会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。              ※各地域との防災講話等についても、新型コロナウイルス感染拡大のため、縮小となっている。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>防災講演会、防災講話、まちづくり協議会防災部会等への説明会等を通じて市民に自主防災組織の重要性を周知するとともに、自主防災活動育成補助事業の活用や「守谷の地域防災を考える会」の協力を仰ぎ、組織の結成促進と活性化を図る。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>地域防災力の向上を図るために必要である。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
<p>防災講演会をはじめ広報紙やホームページ等を通じて自主防災組織の浸透を図り、組織の結成及び活性化のための補助事業を実施した。</p> <p>また、災害時の初動体制の確保や初期活動の円滑化を図るため、市民や関係機関と連携した発災対応型防災訓練を実施した。</p>	<p>昨年度に引き続き、防災講演会を実施するとともに、商工会女性部、シニアクラブ、まちづくり協議会及び松並青葉地区の転入者など、参加団体にあったテーマで防災講話を実施することで、自主防災活動の重要性を周知した。</p> <p>また、自主防災組織と連携して、防災機能を拡充したMorinfoを活用した発災対応型防災訓練を実施することで、実際の災害を見据えた実働的な訓練を実施した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
自主防災組織結成率 （設立町内会全世帯数／市内全世帯数）（％）	66.10	72.10	73.70	75.00	90.00
訓練参加人数（人）	2,904.00	11,537.00	9,225.00	10,000.00	14,500.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>防災講演会、防災講話及び防災訓練を通じて、自主防災組織の必要性や発災対応型防災訓練の重要性が浸透してきており、自主防災組織の結成率も増加にある（今年度は雨天のため、防災訓練参加者数は減少）。今後も引き続き「守谷の地域防災を考える会」等の関係団体の協力を得ながら成果の向上を図っていく。</p>				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>今後も自主防災組織の結成促進と育成強化に向けて、資機材整備事業等の補助事業を継続する。</p> <p>また、新型コロナウイルス影響下での避難所運営について、市民と関係機関が連携して行う発災対応型防災訓練を継続して実施するとともに、地域の実情に応じた防災講話についても検討していく。</p>			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	1,170	2,586	3,315	4,976	4,976
	国・県支出金	15	15	15	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	2,492	3,050	1,200	1,200
	一般財源	1,155	79	250	3,776	3,776
正職員人工数（時間数）		675.00	653.00	931.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,768	2,726	3,820	0	0
トータルコスト		3,938	5,312	7,135	4,976	4,976